



学校だより



NO.13
東京女学館小学校
令和5年3月3日

展覧会でみた子供たちの個性

校長 盛永 裕一

性格の個性、考え方の個性、顔立ちの個性、作品の個性。若いころ、子どもの個性について、真剣に考えたことがあります。当時は、個別指導が重要視され、「一人一人の個性を伸ばすことが大切だ」と言われて時代です。それでは個性とは何か。この問いに教員仲間とよく語ったものです。

「いつも真面目である」、「独特なフォームで跳ぶ」、「迫力のある作品を創り出す」、「独自の考え方ができる」。これらは、その人の個性と言えそうです。それでは、「漢字を覚えることが苦手」、「計算が得意でない」、「絵があまり上手に描くことができない」などはどうでしょう。これらを個性と言っているのか。そんなことも考えました。

なかなか結論が出ず、今も明確な答えは出せていません。でも、これだけは言えそうです。

努力に努力を重ね極めたとき、本当の個性が生まれる

相田みつを美術館に行ったときの驚きは忘れません。あの優しい独特な字体からは想像がつかない正統な楷書の作品が多いことです。しかも、すばらしい。何枚も何枚も正統な作品を書いていくうちに、私たちがよく目にする独特な書スタイルができたのだと気づかされました。このような過程こそが個性を生み出す原動力であると確信しました。

さて、先日展覧会が開かれました。多くの皆様にご覧いただき、誠にありがとうございました。

会場の体育館や廊下には、一人一人の個性あふれる作品が、たくさん飾られました。見ていると時を忘れ、一生懸命に取り組む子どもたちの姿が思い浮かびます。画面の構図を頭の中で必死に考えている姿、色を混ぜ思いの色を作り上げた満足げな姿、板を丁寧にのこぎりで切っている姿、どの姿も子供の本気を感じます。努力に努力を重ねた結果の作品であり、それぞれの個性が凝縮された作品たちです。がんばった子どもたちに拍手を送りたいと思います。



六年生の書写「座右の銘」。作品の中に「志」がありました。近くに添えられた作文に「これからは勇気をもっていろんなことにチャレンジし、人生を豊かにしたい。」と記されています。志を高くもち、努力に努力を重ね、個性豊かな人間に育ってほしい。改めてそう願っています。さて、はやいもので本年度も残すところあとわずかとなりました。学校の教育活動にご支援、ご協力いただいたことに感謝申し上げます。ご家庭ではこの一年間を振り返り、お嬢様の成長をほめ、励ましていただきますよう、よろしく願いたします。

展覧会 (2月18日・19日)

2年前に引き続き、感染対策を心がけながら展覧会準備を進めました。ただ、2年前は一度に体育館で作業する学年は1学年のみだったものを、今年度は2学年にするなど以前より出来ることが増えた展覧会でした。その最たるものは、講堂でのクラブ発表を全校児童が鑑賞した事だと思っています。

展覧会場で児童達の作品を鑑賞する事で感じられる事が多くのあるのと同じように、クラブ発表でも児童たちの息遣い、緊張感や喜びなどが直接感じられ改めて対面でおこなう事の良さを実感しました。

今後は、保護者の皆様にも児童の様子を直接見ていただく機会を更に増やしていきたいと思います。

展覧会担当教諭



図工担当教諭

展覧会の準備中に「選べない!」という言葉が、ある学年からたくさん聞こえてきました。限られた展示スペースの中で平面の作品をどちらか一つにすることが決まった時です。どちらも一生懸命に制作に取り組み、両方飾りたいという子どもたちの気持ちがよく伝わってきた瞬間でした。

前回に引き続き今年度もコロナ禍での開催となりました。その中でも、子どもたちはクラブの舞台発表や体育館での展示に力を注ぎ、素晴らしい展覧会となりました。1・2年生は中高学年の作品を見て「今度は私たちがこんな素敵な作品を作れるんだ」「私もあのお姉さんみたいな作品を作りたいな」と今から次の展覧会に向けて気持ちを高めているようです。このような素敵な心温まる展覧会が行えたことに心から感謝いたします。

家庭科担当教諭

5年生は2学期からミシンを使い始め、糸かけ検定をして、全員が90秒でミシンの準備ができるようになりました。エコバッグ製作では、自分の好きな布をポケットにして、思い思いの飾りを付け、手作りを楽しみました。

6年生は、エプロンの型紙づくりをはじめ、布の印付け、裁断、縫製といった様々な工程を通じて、正確に製作することを目標にしました。

きれいに仕上げるには、縫う順番が大切です。例えば、レースを付ける場所によって、どの工程で縫い付けるかが異なります。それを子どもたちと一緒に考えながら進めました。料理と同様、これもプログラミング学習です。子どもたちは頭の中で、しっかりと出来上がりを見据えて、製作できていました。





展覧会 クラブ発表

クラブ発表担当教諭

2月17日（金）の1、2校時に、レクリエーションクラブ・お箏クラブ・バトンクラブ・音楽クラブが講堂で舞台発表を行いました。

司会や、幕間のパフォーマンスで進行役を務めたのはレクリエーションクラブです。進行はとてもスムーズで、ゲームやマジックも全員が楽しめるようによく工夫されていました。お箏クラブは三部合奏「薫る花」に挑戦しました。春が待ち遠しくなるような華やかな演奏でした。バトンクラブは、「SCIENTIST」「WA・DA・DA」というテンポの良い曲に合わせて、明るくはつらつとした演技を披露しました。音楽クラブは「さよならの夏」「鐘のキャロル」「とどけようこの夢を」の3曲を器楽合奏で演奏しました。曲に込められた思いが伝わってくる美しい音色でした。全校児童の前での発表は2年ぶりで、皆、緊張しながらも精一杯、積み重ねてきた練習の成果を発表しました。

会場では、感動すれば大きな拍手が、リズムに乗れば手拍子が、面白ければ笑い声が自然に起こり、温かく和やかな一体感に包まれたひとときでした。



東洋英和女学院小学部とのクラブ試合 担当教諭

2月25日(土)、本校を会場にしてクラブの親善試合が行われました。参加クラブはバスケットボール、バドミントン、バレーボール、テニスの4つです。毎年恒例で長年続く伝統行事でしたが、コロナ禍で実施できず、3年ぶりの開催でした。同日、サッカークラブは東洋英和女学院小学部で交流試合を行いました。どのクラブも他校の同じスポーツを親しむ児童同士で練習や試合をし、良いプレーには自然と拍手が起きました。和やかな雰囲気の中で親睦を深めることができました。



バレーボールクラブ

6年B組 児童

2月25日に、私たちバレーボールクラブは東洋英和さんと親善試合を行いました。私は、試合中4、5年生を見てとても感動しました。なぜなら、ボールはしっかりと高く上がり、声も出ており、成長していたからです。このような成長を見ることができたのは、親善試合を実施してくださった先生方のおかげです。試合でその感謝を表そうと思いながらプレーをしました。今回の親善試合は、私にとって一生の思い出です。

バスケットボールクラブ

6年A組 児童

私は今回の親善試合が初めての経験だったので、とてもきんちょうしました。東洋英和のみなさんと合同で練習をした後、試合をしたのですが、圧勝されてしまい、とても悔しかったです。でも、それと同時に東洋英和のみなさんのように上手になりたいという気持ちがこみ上げてきました。今回経験したことをきっかけに、もっとがんばろうと思いました。

バドミントンクラブ

6年B組 児童

2月25日は東洋英和女学院さんとのバドミントン親善試合でした。全学年初めての親善試合だったのでとてもドキドキしていました。英和さんはシャトルを遠くに打ち私たちを後ろに行かせて、その後すぐに前にスマッシュを決めるなどシャトルをとられないようにしてとても強かったです。

英和さんからは、ほかにも色々と学べるがありました。そして英和さんと、とても仲良くすることができたのでうれしかったです。またいつか東洋英和女学院さんとバドミントンの試合がしたいです。

テニスクラブ

私たちテニスクラブは東洋英和との親善試合を3年ぶりに行うことができました。準備体操をしたり、審判をしたりと様々な場面で一緒に活動しました。お互いおめでとうと言い合って仲をぐんと深めることができました。他校の友達とテニスを通して仲を深め、友達の輪を広げられたことは、とても素敵なことだと思います。

サッカークラブ

6年B組 児童

私たちサッカークラブは、東洋英和のグラウンドで親善試合を行いました。今回の試合は6年生の私にとって最後の試合なので、前日から楽しみにしていました。当日、試合中に足を痛めてしまう人が出た時に、東洋英和の人達はみんなで「だいじょうぶ？」とかけよっていました。私もそういう優しい心を持てるような人になりたいと思いました。また東洋英和の人達は、試合中も積極的だし、休けい中も真けんに試合を観戦していてかっこいいと思いました。

漢字検定 担当教諭

昨年度実施できなかった漢字検定試験を今年度は無事に2月10日（金）に本校を準会場として行うことができました。どの児童も日頃の成果を発揮すべく、真剣に問題と向き合っていました。漢字は日頃から使うことで身につきます。日々、読んだり書いたりすることを通して、沢山の漢字に出会い、進んで使って欲しいと願っています。来年度も全学年実施予定です。日々、自主的に漢字学習を進めていって欲しいと思います。



リボンの会から
学校への寄贈品(イメージ)

令和4年度リボンの会ご挨拶

リボンの会会長 保護者

リボンの会活動を終了するにあたりまして、保護者の皆様にはご理解、ご協力を賜りました事、心より御礼申し上げます。そして、笑顔で快くお手伝いを引き受けて下さいましたクラス代表の皆様、いつも温かくお導き下さいました先生方、感謝の思いでいっぱいです。リボンの会主体の活動も少しずつ出来るようになってまいりました。改めて、時代にあった取組みを模索する機会ともなり、オリジナルグッズ販売では Google フォームを導入致しました。販売収益が学校に役立てられるだけでなく、商品を通してより豊かな学校生活の一助となれましたら幸いです。ご報告としましては、多目的室等のお授業で使用出来るローテーブル10台と座布団を学校に寄贈致します。また、リボンの会より教職員、在校生の皆様には「TJK ジップロック」をお贈り致します。1年間ありがとうございました。

3月の生活目標 「1年間の反省をする」

一年間のまとめの時期です。学校や学級の目標・一人ひとりの目標に対して、どのように自分が取り組んできてどこまで達成することが出来たか、自身をふりかえる大切な時期です。子どもたち自身が成長を感じ、次の目標を設定することができるよう励ましていきます。友だちと協力してたくさんのことを経験し、多くを学び大きく成長したこの1年でした。ご家庭でもこの一年間の成長を話題にして認め褒めていただけると、次年度への励みになりますのでよろしくお願いいたします。

☆定期券の期限切れにお気を付けください。また新年度まで定期券を購入されない場合、学バスのスムーズな乗車のために、できるだけＩＣカードをご利用ください。